

福山市幼保小連携状況②（1学期） ～9月実施アンケート調査より～

1 連携取組の状況

項目	実施校数（割合）
保育参観	63校（88.7%）
授業参観	48校（67.6%）
保育体験	14校（19.7%）
授業・行事での交流	37校（52.1%）
個の子どもの交流	30校（42.3%）
接続を見通したカリキュラムの交流・編成	54校（76.1%）
接続を見通したカリキュラムの改善	26校（36.6%）
幼保小中連携の計画※	19校（26.8%）

※2023年度研究テーマ及び一斉研修日研修内容等一覧より

2 幼保小連携の内容の具体

〔保育・授業参観及び事後協議〕

- ・園所での保育・教育内容についての交流
- ・子どもたちが言葉や数に自然に触れていく環境づくりや個に応じた支援の交流
- ・中学校の授業を幼保小中で参観し、学びをつなぐために必要なことについての協議
- ・幼児期の「遊び」と、小学校における各教科等の学習のつながりについての協議 等

〔保育体験〕

- ・年中クラス、年長クラスでの保育体験
- ・夏季休業日を利用した全職員による保育体験

〔授業・行事での交流〕

- ・小学校の運動会や練習場面、避難訓練、大休憩を利用した外遊びへの参加
- ・園所の子どもたちが生活科や図画工作科の授業へ参加（おもしろい遊びがいっぱい、砂と土と仲良し等）
- ・5年児童による年長児の水泳教室、プール開放 等

〔接続を見通したカリキュラムの交流・編成・改善〕

- ・言葉と数に着目した保育や教育の実践の交流
- ・園所と一緒に生活科の単元計画を作成
- ・数字のカードゲームやおはじきなど、各教科に活かせることについての協議
- ・保育園での経験とスタートカリキュラム・カリキュラムマップとのつながりについての協議
- ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」の「8数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」を中心に、園所の取組や子どもの姿、小学校での学習とのつながりについて協議
- ・授業参観後に、就学前の様子と現在の子どもの様子についての気づきから、カリキュラム改善の視点を協議 等

気付きや感想

- ・保育参観を通して、気持ちを言葉で表現することに力を入れていることが分かった。
- ・園児同士の言葉のやりとりの中で、語彙の広がりについて理解することができた。
- ・連携することで、園所での遊びの様子を知り、そこから生活科の授業を考えることができた。
- ・小学校の先生と協議する中で、子どもの遊びが算数や理科とつながっていることに気づくことができた。
- ・小中一貫教育の取組を園所にも広げ、幼保小中連携を進めていきたい。